令和８年度　　神代中学校　　美術科　　第２学年年間指導計画・評価計画

月	領域	題材名	時間	目標	学習活動	観点・評価基準
4	鑑賞	エッシャーの世界	2	・エッシャーの独特な世界観に触れ、物の形を様々な角度から観察する力やそれを元にした表現力を養う。	●エッシャーのＤＶＤ鑑賞 ●映像の中に登場する平面充填作品を解説する。 ●エッシャーの独特なトリックアートの世界を解説する。	・エッシャーの絵画を興味を持って鑑賞している。 【主体的】 ・自分の見方や感じ方ができる。　【思・判・表】 ・様々な角度から物や形を捉えることのできるエッシャーの作品を作品制作の参考にしようとしている。【主体的】
5	デザイン	平面充填になる基本的な形からオリジナルの形を作ろう。	3	・平面充填になる単純な図形を知り、応用作品を作ってみる。作品見本を参考にオリジナルの形を創る。 ・グラデーションやリピテーションを駆使して連続模様の美しさを表現する。	●正方形・正三角形・正６角形などを変形させて充填するパターンを作る。 ●色鉛筆で配色を考えながら着色する。 ●作品の中や作品見本を参考にオリジナルのパターンを選ぶ。	・充填する基本的な形を知る【知・技】 ・形の特徴を生かした配色を考えている。【思・判・表】 ・作品見本を参考に充填する形を変形させてパターンを作ることができる。【思・判・表】
6 7 9	デザイン	平面充填てん鯉のぼり	14	平面充填になる基本的な形などを使って、オリジナルの連続模様を考案する。平面充填になる法則を理解し、より複雑なパターンを目指して表現する。きれいな配色になるように。色の知識を駆使して着色する。ムラや塗り残しのない丁寧な着色。	●自分が選択したパターンを和紙に下描き ●グラデーションや補色を意識した配色を考える。 ●ムラ無く際まで丁寧に着色する。 ●頭・ひげ・尻尾のデザインと着色をして完成させる。 ●鯉のぼりの裏面を張り合わせて完成。	・正確に下描きすることができる【知・技】 ・きれいで目立つ配色を選択できる　【思・判・表現】 ・丁寧な着色【知・技】 ・パターンに合う頭・ひげ・尻尾のデザインと配色を考えることができる。【知・技】 ・裏面の貼り付け【知・技】
10	鑑賞	日本の伝統的な木彫作品について	1	伝統的な木彫の技法や歴史・伝統文様を知り、自分の生活にどのように息着いているか気付かせる。	●日本古来の伝統的な木彫作品をパワーポイントで学習しながら、ワークシートを穴埋めしていく。　●木彫作品の技法に対しての感想を記入する。	・日本の伝統彫刻に興味を持つことができる【主体的】 ・木彫技法に興味を持ち、作品制作に生かそうとしている。【主体的】
10	彫刻	基本的な彫り方の試し彫り	2	安全な彫刻刀の扱い方を学ぶ。早くしかもきれいに彫る技法を学ぶ。物の立体感や陰影を表現するための基本的な彫り方を学ぶ。	●安全な彫刻刀の扱い方について学習する。 ●試し彫りの板を配布して基本的な彫り方のワークシートを転写する。 ●スクリーンに映っている彫り方を参考に１つ１つ丁寧に手順通り彫っていく。 ●大体彫れたら平刀できれいに仕上げる。	・彫刻刀の安全な扱い【知・技】　・正確に転写する【知・技】 ・早くしかもきれいに彫る技法を習得しようと実践している。【思・判・表】 ・きれいに見本通りに仕上げようとしている。【知・技】
11 12 1 2 3	彫刻	木彫小箱	13	物の立体感や陰影を１ｃｍの厚さの範囲で効果的に表現する。彫りに合う塗料を使って彫りを引き立てる。	●見本の作品を参考に展開図のワークシートにアイデアスケッチをする。 ●上面、側面のうちの２面に下描きをする。 ●モチーフに合う彫り方を選択して、深さが３～５ｍｍを目指して彫っていく。 ●モチーフに合う塗料（木彫カラー・ポスターカラー）を選択して。ムラ無く塗る。木彫カラーは２度塗りする。	･画面レイアウトや立体感を意識したモチーフを創造できる。【思・判・表】 ・丁寧に正確に転写できる【知・技】　・早く正確に立体感を意識して掘り進めている。　【知・技】 ・モチーフや彫りの技法に合う配色を考えて着色している。【思・判・表】